

盛心塾和歌山 活動報告

2023.1発刊

代表世話人挨拶



私たちの師、稲盛和夫塾長は、2022年8月24日、旅立たれました。稲盛塾長は生前、「死」について「肉体の死ではあっても、魂の死ではないと思っています。死というのは、私の魂が新しい旅立ちをしていくめでたい日だと思うのです。悲しい

ことではなくて、魂が新しい旅立ちをしていく嬉しい日なのです。」と言われていました。

同時に「人生を生きる意味とは、まさに自分の魂を磨くことにある。死ぬ時に、生まれた時に持ってきた魂より少しでも美しい魂にして、新しい魂の旅立ちを迎えるためにある。このことが人生を生きてきた価値であり、また目的である」とも教えてくれました。

ですから、私たちは美しい思いやりに満ちた素晴らしい魂としていくために、毎日毎日、善き思いを心に抱き、善きことを実行していかなければなりません。

どうかみなさん、2022年度を振り返り謙虚に反省し、2023年度もともに学び合い、善きことを実践することで、さらに自分自身を変えていく努力をしていきましょう。

株式会社サンコー 角谷太基



今年を振り返りますと、やはり一番の出来事は8月24日享年90歳で稲盛和夫塾長がご逝去されたことです。

大きな喪失感はありますが、塾長の警咳に多く触れることができ本当に幸せでした。

稲盛和夫氏から直に学ぶことができない状況であっても、課題をもって自己を高めようと塾生同士が集い、学びあう、熱い自己研鑽の場として、自立して活動できていることにあらためて感謝申し上げます。

本年度の運営方針は「自分自身の人徳を高め、企業の安定と隆盛をはかる」でした。

具体的活動としては、外部から塾生を招いての講師例会、塾生による経営体験発表、経営の原点12カ条に関わる勉強会、京セラフィロソフィ輪読会、盛心塾五塾合同勉強会、関西10塾合同勉強会など委員会の方々のお世話で充実した学びの場を提供することができました。

今後も私たち塾生は、師である稲盛和夫氏から人生哲学と経営哲学を学び、そして実践し、社員の方々に幸せにし、社会のために尽くし貢献してまいります。一年間お世話になり有難うございました。

わかやまホーチキ株式会社 小池康生

新入塾生紹介

一閃パートナーズ株式会社 菅谷 朋樹



本年6月に和歌山市に、すがや税理士事務所を開設して、経営コンサルタント兼税理士として和歌山市を中心にして会社の未来に向けた企業に支援活動をしている経営者です。

紀の国住宅株式会社 林 裕介



和歌山県下注文住宅8年連続ナンバーワン
創業45年和歌山県、南大阪を中心に不動産の販売及び注文住宅の販売をメインに行っております。
縁ある人の物心両面の豊かさとして人生の幸福を求める経営者です。

22年度もコロナ禍がまだ終息しない中で、ハイブリットからリアルと例会が出来るようになりオブザーバー参加からの活動において、新入塾生2名の新しいソウルメイト迎えることができました。23年度より新体制になりますが、一人でも多くの入塾希望者を集め、手厚くサポートしながら塾生を増やしていく活動を進めたく皆様よろしくお祈りいたします。

新入塾生拡大委員会 ASMILE株式会社 代表取締役 酒本正志

講師例会委員会

マルヤマ食品株式会社 代表取締役 丸山 剛史

講師例会とは、県外から経営の最前線でご活躍されているリーダー(経営者)をお招きして、その人が持つ人生哲学や経営哲学を共有し学び合う勉強会です。

講師として来られる方の共通点は「従業員を幸せにする」こ

とです。どのようにして会社を大きくしていったのか、また、どのようにして従業員と事業の目的意識を共有していったのか。そのようなリーダーから「心の経営」を学ぶ門外不出の勉強会となっています。

第1回 (6月7日)

大峰堂薬品工業株式会社 代表取締役社長 辻 将央



生きること、繋ぐこと

「生きること」は成長することであり、「繋ぐこと」は経営理念を後世まで繋ぎ続けることであるとご講演いただきました。辻社長の会社では、独自のフィロソフィーを従業員と一緒に定めた結果、経営者と従業員が家族のような関係を築けることができました。

辻社長は「常に自分を活かし、仲間を活かす」と仰っています。大家族主義で経営を行った結果、業績も年々良くなり、企業規模も大きく飛躍しています。物心両面の幸福を実現されている、とても素晴らしい経営者でした。

第2回 (8月9日)

株式会社トダックス 名誉顧問 戸田 直員



大家族主義経営「命のリレー」

戸田様は少年時代、とても貧しい生活を送っていました。そのため、お金持ちになりたい気持ちが誰よりも強かったそうです。若くして会社を創業しましたが、なかなか上手くいかず思い悩んでいた時、たまたま出会ったのが稲盛和夫さんでした。

稲盛さんと出会っていなければ、今の自分はいないというほど人生が180度変わったと仰っています。本気の経営姿勢で後世に命を繋ぐ。この強い思いがたまらなく魅力的な経営者でした。

第3回 (11月17日)

日本体育施設株式会社 代表取締役CEO会長 奥 裕之



ひとりでも多くの人を幸せにしていくという経営者の使命を果たす

奥会長からは多くのことを学びました。「自分には無限の可能性がある」「面白くやらないと面白くならない」「徳を積む」「思いは必ず実現する」など、当たり前のようなようですが、いざ実行しようとしてもなかなかできません。しかし、奥会長は愚直にそれらのことを実践され、自ら仕事の最前線に立って目標を達成してきました。

また、東京オリンピック2020のメイン会場となった国立競技場の施工や、オリンピックのボランティアスタッフとしての活動など、とても面白い話を聞くことができました。

経営体験発表委員会

株式会社ツネダ 代表取締役 常田幸司

今年も和歌山の塾生の中から、3名の方にご発表いただきました。生い立ち、学生時代のこと、働きはじめてから現在に至るまでのことを赤裸々に語っていただくその内容は、本当に様々で、発表のためにご自身が振り返られ、魂から出る言葉

を寄せられるその場で、参加者それぞれが受け止めそれぞれの気づきを共有できる素晴らしい場所であると感じています。

第1回 (3月8日)

株式会社エム・ワン・コーポレーション 広瀬孟登武 塾生



先々代より地元で酒類卸売されていたのをワインのインターネット販売への転身を決断、様々な苦勞をされる中、売上げを伸ばし、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー ワイン部門」にて10年連続特別賞受賞されるなど、目覚ましい進展を遂げられています。経営体験発表では生い立ちから現況、将来の展望など赤裸々にお話しいただきました。オンラインのみの開催ではありましたが、質疑応答、ディスカッションともに盛り上がりました。



第2回 (7月12日)

八木春産業株式会社 八木正浩 塾生



本社が大阪で旧盛和塾でも大阪に所属されていましたが、2022年よりこの和歌山でもともに学ばれることとなった八木塾生。今回は和歌山入塾後、初めての経営体験発表。不動産業、クリーンビジネス(電解水衛生環境事業、クリーニング業)、街づくり事業など幅広く事業を展開される中、海外まで視野に入れさらなる発展に向け、ビジョン・抱負を語っていただきました。

大阪の塾生やオブザーバーを含めたくさんの塾生に参加いただきました。



第3回 (10月11日)

株式会社おはなはん 松本 務 塾生



創業者である実母の急逝に伴い、社長に就任された松本塾生。先代の「焼きたての美味しいお好み焼きをご家庭で楽しんでいただきたい」という思いを引き継ぎながら、新商品開発、インターネット販売、百貨店での出店など、ご兄弟とともに取り組まれている中でのご発表。お好み焼きへの熱い思い、これからのビジョンを語っていただきました。



第2回 心を高める経営を伸ばす世界大会に出場して

富士興業株式会社 代表取締役社長 谷山 勝巳

2022年9月21日、国立京都国際会館にて第2回 心を高める経営を伸ばす世界大会が開催され、その場で盛心塾和歌山の代表として、経営体験発表をさせていただきました。盛和塾の時代から和歌山塾から世界大会で発表したのは初めてとのことでした。

2015年2月に盛和塾世界大会関西Bブロック選考会で発表させていただきましたが、その時は世界大会には出場できませんでした。それ以後「いつかは世界大会で発表したい」と夢見ていましたが、今回その夢を実現することができました。

今回は、5月に開催された関西10塾合同勉強会で世界大会の予選会として発表し、世界大会に推薦していただきましたが、まさか世界大会発表者の8名に選ばれるとは思っていませんでした。

世界大会では、WEB参加者を含め1400名超のソウルメイトの前での発表となり、とても緊張しましたが精一杯発表させていただきました。

社長就任して3年余りですが、65歳にして本当に良い経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

第2回 心を高める 経営を伸ばす 世界大会	
国立京都国際会館 2022年9月21日(水)	
＜プログラム＞	
10:18~10:30	開会、開会挨拶 (川野健司 世界大会運営事務局世話人代表)
10:30~11:05	経営体験発表① (大野新子 塾生 実践経営道場(大和))
11:05~11:40	経営体験発表② (高田典英 塾生 石川塾生会)
11:40~12:15	経営体験発表③ (高橋卓仁 塾生 フロソフ/経営実践塾(横浜))
12:15~13:35	休憩(90分) ※選考会場は会場を指定しております。
13:35~14:10	経営体験発表④ (谷山勝巳 塾生 盛心塾和歌山)
14:10~14:45	経営体験発表⑤ (土塚梁丸 塾生 鹿角島産経塾)
14:45~15:20	経営体験発表⑥ (松澤海紀 塾生 岡山師範会)
15:20~15:55	経営体験発表⑦ (山下英孝 塾生 盛心塾カルフォルニア)
15:55~16:20	休憩(25分)
16:20~16:55	経営体験発表⑧ (李坤 塾生 中国盛和塾<天津>)
16:55~17:20	「心の京セラ二十年とフロンティア経営の体系について」 立命館大学大学院テク/ロジーマネジメント研究科教授 青山敬雄
17:20~18:00	福盛和夫様ご講話(贈り迎境下の経営) 2022.9.12
18:00~18:10	新大会発表者への敬意表明、今回大会発表者への感謝状贈呈
18:10~18:20	開会挨拶 (瀧田勉 一冊 世界大会運営事務局世話人)
18:40~20:30	コソバ(110分) ※コソバ会場は会場テーブルを改装しております。



盛心塾5塾合同合宿

株式会社オリロク 代表取締役 平野真一

10月29日、30日の2日間、滋賀県の休暇村近江八幡にて和歌山・神戸・尾張・東京・三河の五塾による合同合宿勉強会を開催いたしました。100名近くの塾生が集まり和歌山からも11名が参加いたしました。(株)カワキタコーポレーション、代表取締役川端健嗣様の基調講演をはじめ各塾からの代表者による経営体験発表、グループディスカッション、懇親会、2次会勉強会と夜遅くまで学びあい親睦を深めあいました。和歌山塾からはシゲタ巧芸紙業(株)の重田真成塾生がすばらしい経営体験発表を行いました。



第4回 盛心塾和歌山 稲盛カップ(11月20日)

11月20日(日) 国木原ゴルフ倶楽部で開催されました。日頃の喧騒を忘れてゴルフで体を動かし、コンパを通して塾生相互の親睦を深めたいと企画しました。実践経営者道場大和より6名の参加をいただき4組16名で稲盛塾長杯をかけて楽しくプレイさせていただきました。

- 個人戦 1位 小池 康生 / 2位 八尾 裕次 / 3位 内本 浩史
- 団体戦 実践経営者道場 大和



忘年例会(12月13日)

12月13日和歌浦の観潮さんにて開催されました。参加塾生がそれぞれ、一年間の盛心塾での行動と自社の経営実践について発表し、振り返るよい機会となり、フィロソフィが持つ力を心の底から信じて、経営の場で実践していくことを新たに認識し合うことができた時間となりました。

酒を酌み交わし、胸襟を開き、経営を語り合う、まさに盛心塾らしい善い空間でした。



本年、経営の原点12カ条委員会では、全3回、塾生企業に訪問し学びを深めました。石黒塾生、広瀬塾生、小島塾生の会社へそれぞれお邪魔し、職場を拝見させていただくと共に、その企業が今力を入れて取り組んでいること、また課題になっていることなどを、12カ条の項目に即して発表いただき、それを参加塾生でディスカッションしました。(それぞれの具体的なテーマは、「M&A」「webマーケティング」「値決め」でありました)そこから、それぞれの塾生の課題や悩み、また新しい取り組みや展望などにも話は広がり、お互いの気付きを得られる有意義な勉強会となったのではと思います。ご参加いただきました皆様、ご協力賜りました皆様には感謝申し上げます。特に、谷野塾生にはzoom配信の設営に毎回多大なるご協力を賜りましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。



稲盛塾長追悼事業報告

事業報告

- ・稲盛和夫氏の著書及び関連図書を地域の図書館に寄贈する「稲盛文庫」事業
- ・和歌山塾生による『稲盛和夫塾長 追悼録』と題した文集を完成



京セラの創業者で名誉会長であり、盛和塾塾長である稲盛和夫氏が2022年8月24日午前8時25分、京都市内の自宅にて享年90才でご逝去されました。

生前、私たち塾生は、盛和塾、そして盛心塾において、1993年の発足以来、30年間にわたって、稲盛塾長の警咳に多く触れることができ、本当に幸せでした。

稲盛塾長からは、稲盛経営哲学を余すことなくご教授いただき、より多くの学びと気づきと反省をいただけたことで、今の私たち塾生一人一人の企業経営が存続しているといっても過言ではありません。

教育者 森信三先生が『修身教授録』、『故人に尽くす一つの途』の講義の中で、「故人の書き残したものと、並びに生前故人と親しかった人々の、故人に対する思い出を集め、印刷して人々に頒つということ」をするように勧められ、さらに「こういうことは、時がたつとやりにくくなるもので、何としても時期を失してはいけない。」と教えて下さっています。

この教えに導かれて、盛心塾和歌山は、稲盛和夫塾長追悼事業として、著書及び関連図書を地域の図書館(和歌山県、和歌山市、田辺市)へ寄贈させていただく「稲盛文庫」の取組みと、和歌山塾生による『稲盛和夫塾長 追悼録』と題して思い出を集めた文集を作成しました。

